

①あいさつ (小学校中学年)

『あいさつ名人になろう』

1. 展開案

過程	学習活動	教師のはたらきかけ	留意すること
わか か る	1. 本時のねらいを知る。	<p>○みなさん、今日、誰かとあいさつをしましたか。</p> <p>○ところで、どうしてあいさつをするのでしょうか。</p> <p>○あいさつには、相手が気持ちよくなったり、相手と仲良しになったりするパワーがあります。でも、同じあいさつでもやり方が違うとそのパワーがなくなります。今日は、パワーいっぱいあいさつの名人をめざして上手なあいさつの練習をしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつは、良好な人間関係をつくる初めの一步であることに気付かせる。
<p>じょうずなあいさつのれんしゅうをしよう</p>			
	<p>2. モデリングを見て、あいさつのポイントを知る。</p> <p>【モデリング】</p> <p>I 相手を見ないで、小さな声で無表情でぼそぼそあいさつする。</p> <p>II ポイントを使ってあいさつする。</p>	<p>○人との関わり方の学習をするときの約束を確認します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ひやかさない ・はずかしがらない ・よいところを見つける </div> <p>○では、今から先生が2通りのやり方であいさつを試みます。どちらが上手なあいさつか見ていてください。</p> <p>○どちらが上手でしたか。</p> <p>○どんなところがよかったですか。</p> <p>○あいさつのポイントにはいろいろありますが、今日みんなにやってもらいたい上手なあいさつのポイントは3つです。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【あいさつのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あい手を見る ・え顔で ・聞こえる声で </div> <p>○まずは、先生を相手にみんなでやりながらポイントを確認してみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に行動できるようにするためには、約束を守ってしっかり練習することが大切であることを伝える。 <p>※モデリングシナリオ参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手役は事前に頼む。 ・モデリングは、ポイントが分かりやすいように、違いをはっきりさせて大げさに演じる。 ・どんなところがよかったか、気づきを出させながらあいさつのポイントを押さえる。 ・実際に「相手役」に気持ちを聞き、あいさつのポイントを使うと相手の印象がよいことを確認する。 ・それぞれのポイントについて具体的にどうすればよいのかを全体で確認する。特に「笑顔」は実際に「い」の口形を作ってペアで向き合って確認させる。
や っ て み る	3. あいさつのポイントに気を付けながら練習①をする。	<p>○では、4人グループになってください。これから「あいさつをする役」「あいさつをされる役」「見守る役」に分かれて練習をします。「見守る役」は、「あいさつをする役」をよく見て、できていたポイントやよかったところを教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「見守る役」は「あいさつをする役」があいさつのポイントを使っていたかどうか目を向けさせる。 ・役割の交代の仕方を提示する。

や っ て み る	<p>4. 練習①を振り返り，話し合う。</p> <p>5. あいさつのポイントに気を付けて練習②をする。</p> <p>6. 練習②を振り返り，話し合う。</p> <p>7. あいさつのポイントに気を付けて練習③をする。</p>	<p>一人終わるごとにグループでよかったところを教え合いましょう。それが終わったら、役を交代します。</p> <p>○1回目の練習の振り返りをしましょう。上手なあいさつができましたか。振り返りシートの1回目のところに丸を付けましょう。</p> <p>○グループで上手だった人を紹介して下さい。先生が見つけた「あいさつ名人さん」を紹介します。（数人やってみせる） どんなところがよかったですか。</p> <p>○2回目の練習で頑張りたいポイントを決めましょう。できるポイントが増えたり，頑張りたいポイントが上手にできるようになったりするといいですね。</p> <p>○2回目の練習をしてみましょう。</p> <p>○□□さんの笑顔や，△△さんの聞こえる声がとてもいいですね。</p> <p>○ワークシートの2回目の欄に振り返りをしましょう。</p> <p>○3回目はあいさつのあとにアクションをいれますよ。縦の列で行います。</p> <p>○初めは「あいさつ・右手ハイタッチ」です。スタートの人が後ろの人にあいさつをします。あいさつをされた人は，あいさつを返して，「ハイタッチ」します。次の人にあいさつをし、その次の人があいさつを返して「ハイタッチ」をします。一番後ろの人が一番前の人のところに行って「ハイタッチ」をしたら全員座ります。「3つのポイント」でできるようにがんばりましょう。</p> <p>○次は「あいさつ・グッジョブ」です。あいさつをしたら親指を立てて「グッジョブ」とお互いにほめ合いましょう。</p> <p>○3回目の練習をワークシートに記入しましょう。</p>	<p>・スムーズに進めるため1つのグループが実際に練習をやってみせて，やり方を確認してもよい。</p> <p>※ふりかえりシート参照</p> <p>・よかった児童を数名紹介し，あいさつのポイントを再確認する。あいさつのポイント以外でもお辞儀の仕方や距離の取り方など工夫している点を紹介し，新しくポイントとしてあげてもよいことを知らせる。</p> <p>・あいさつのポイントに沿ってよかった児童をほめてまわる。</p> <p>・あいさつ+「人差し指タッチ」 あいさつ+「手を振る」 あいさつ+「礼45度」 など あいさつに加える行動を変えながら楽しい雰囲気練習をさせる。</p> <p>・時間内にいろいろなアレンジであいさつを行い，チャレンジ週間の取り組みへつなげる。</p>
ふ り か え る	<p>8. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日の学習を振り返りましょう。</p> <p>○あいさつが教室いっぱいになってどんな気持ちですか。</p> <p>○あいさつのポイントは，いろいろなあいさつの場面で使えそうですね。</p> <p>○明日から1週間，チャレンジ週間にします。チャレンジ1では，朝の会，帰りの会で「あいさつタイム」をします。練習③でやったようにあいさつの後にアクションをします。チ</p>	<p>・あいさつをして心地よい気持ちになっていることに気付かせる。</p> <p>※チャレンジシート参照</p> <p>・チャレンジ週間の内容を説明し，意欲を持たせる。</p>

		<p>チャレンジ2では、1週間、何回あいさつのポイントに気をつけてあいさつができたか記録してもらいます。</p> <p>上手なあいさつの名人になれるようにがんばりましょう。</p>	
--	--	--	--

2. モデリングシナリオ

モデリングシナリオ

モデリングⅠ もじもじしながら、あいさつをする

(相手を見ないで、下を向いて、無表情で、小さな声で言う。)



.....
おはようございます
.....

モデリングⅡ あいさつのポイントを使って、あいさつする

(みんなの方を見て、聞こえる声で、笑顔で言う。)



おはようございます!

3. チャレンジ週間の取り組みアイデア

朝の会での「あいさつタイムの取り組み」

- ①あいさつする相手を代えたり、人数を増やしたりする。
- ②言葉を「こんにちは」「さようなら」などに変える。
- ③「〇〇くん、おはよう」と名前を入れる。
- ④あいさつの後に加える行動を変える。

などのアレンジをし、児童を飽きさせず、楽しくなる工夫をする。

〈例〉

- ・ 1日目：あいさつのポイントをつかって5人とあいさつ+ハイタッチ
- ・ 2日目：言葉を「こんにちは」に代えて班の人とあいさつ+手を挙げる
- ・ 3日目：言葉を「ありがとう」に代えて5人とあいさつ+握手
- ・ 4日目：あいさつの前に相手の名前を入れて3人とあいさつ

4. あいさつの場面のアレンジ例

「①あいさつ」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

- ・ 朝、会ったとき
- ・ 廊下ですれ違ったとき
- ・ 授業の始めと終わりにあいさつをするとき
- ・ 給食や掃除の始めと終わり
- ・ 部屋（教室・職員室・事務室・保健室・部室など）に入るとき
- ・ 帰りに人と会ったとき
- ・ 修学旅行や宿泊研修で、あいさつやお礼などを言うとき
- ・ 生活科や総合的な学習の時間で探検や見学に出かけるとき